

## 「ハンナのかばん」～悲しみを希望にかえて～

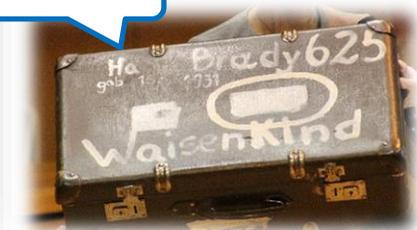
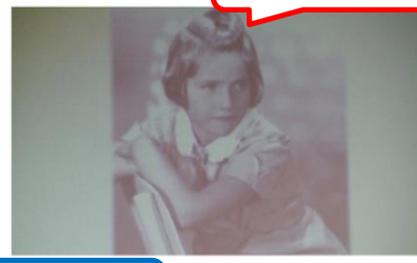
11月24日(金)に国際理解講座「ハンナのかばん～悲しみを希望にかえて～」を実施しました。当日は、ホロコースト教育資料センターの代表 石岡 史子さんに来ていただきました。13歳の少女ハンナ・ブレイディの生涯を通して、ホロコーストの歴史を分かりやすく学びました。苦難にあっても希望をもって力強く生きたハンナの姿を通して「一人の命の尊さ」を考え、人の痛みを思いやる寛容な心を学びました。

今回は、生徒の感想を紹介します。



ハンナのかばん

ハンナの写真



私は、ホロコーストについて、何となく聞いたことはありましたが、詳しく聞くことは初めてでした。600万人と聞いても、数が多すぎて実感がわきませんでした。とにかくたくさんの方が亡くなったのだということがわかりました。ドイツのように、自国の良くない歴史を認めて、後世に伝えていこうとする取り組みは素晴らしいことで、誰にでもできることではないと思います。1%以下のユダヤ人達の人権をうばったことは、小さ規模で考えると、いじめにつながる部分があると思います。今、文林中には無いと思いますが、もし自分の近くで起こったときは、助けられる人間になりたいです。ホロコーストの歴史は、大使の方もおっしゃっていたように、忘れてはならない、繰り返してはいけないことだと思うので、忘れず、自分の生活の仕方も考えていきたいと思っています。最後にジョージさんにお誕生日おめでとうございますとお伝えください。



石岡史子さんやドイツ大使の方と記念撮影をしました！

今日、ハンナのかばんについて学び、自分より年下の子どもたちがユダヤ人というだけで殺されてしまっていたと初めて知りました。ヒトラーが戦争の責任をすべてユダヤ人になすりつけ、多くの人々が死んでしまったと知り、心が痛くなりました。殺されてしまった人たちのかばんには、それぞれ個人情報がかかれていて、復元されたものも、とても大切なものなのだと思います。ユダヤ人が殺されていることに反発した人々もいたと知り、ドイツを敵にまわすことも恐れずに、自分のできることをした人たちは、本当にすごいなと思いました。ホロコーストに関わっていない人も知ることに責任をもち、二度とこのような出来事が繰り返されないようにしないといけないのだと思いました。ジョージさんに「誕生日おめでとうございます」とお伝えください。

## 第3回定期考査に向けての勉強時間ランキング

第3回定期考査の結果がすでに返却されたかと思います。生徒が試験前に記入している学習実施記録表の集計をしてみました。早い生徒は、3週間前から学習を開始しています。以下の表をご覧ください。

順位	合計時間	勉強日数	1日あたりの平均学習時間	1教科あたりの平均学習時間
第1位	2705分	17日間	約159分	約301分
第2位	2305分	16日間	約144分	約256分
第3位	1115分	13日間	約86分	約123分

まだまだ勉強時間が足りないっ！

1日あたりの平均学習時間の目標は、「学年+1」時間、つまり、3時間です！

